

2008 WORLD THOROUGHBRED RANKINGS (WTR)

2008 年は平地競走に関して全世界的に見て素晴らしい年であった。特にザルカヴァ【128】、ゼニヤッタ【125】、ゴルディコヴァ【125】という 3 頭の傑出した牝馬が活躍したシーズンとして人々の記憶に残るであろう。

ザルカヴァ【128】は仏 1000 ギニー、仏オークス、ヴェルメイユ賞に勝利したことで、伝説的なフランスの牝馬アレフランスに匹敵する結果を残したのみならず、アレフランスですら達成できなかった、3 歳牝馬による凱旋門賞制覇という偉業を成し遂げた。2007 年の欧州 2 歳牝馬チャンピオンでもあった同馬は、無敗のまま現役生活を終えた。同馬よりレーティングが高い牝馬は、1997 年のボスラシャム【131】、またフランス調教馬では 1988 年のミエスク【132】といったところである。仮定の話ではあるが、同馬が 2008 年に対戦した馬よりさらに強力な相手と対戦したと想像した時、どこまでレーティングが上がっていたであろうかと、思わずにはいられない。

ゴルディコヴァ【125】は BC マイルで牡馬を降したという点において、1995 年のリッジウッドパール【126】以来の牝馬のベストマイラーと言える。またゼニヤッタ【125】は現在のところ無敗を継続中で、2002 年のアゼリ【125】以来、北米調教馬の牝馬としての最高値を得た。同馬の昨シーズンは BC レディーズクラシックの快勝で頂点に達したものである。ゴルディコヴァとゼニヤッタの両馬とも 2009 年も現役を続けるということで、どういった成績を残すか興味が尽きない。

牝馬が大活躍を見せたという現象は日本にも広がり、2 頭の世界的レベルの牝馬が年度代表馬の座を争う形となった。ウオッカ【120】は安田記念で最高のパフォーマンスを見せ、さらには天皇賞（秋）も制した。また、ダイワスカーレット【119】は、シーズン途中、脚部不安に悩まされることもあったが、有馬記念で牡馬勢を破り、2008 年を締めくくった。

2008 年の牡馬トップの座は、カーリン【130】とニューアプローチ【130】が分け合った。

カーリン【130】はドバイワールドカップを制し、2007 年の最高値を 1 ポンド更新、アメリカに戻った後も斤量を背負いながらもスティーヴンフォスターハンデを快勝した。その後はレーティングという点では顕著な成績は残せなかったものの、年前半の活躍により、2004 年のゴーストザッパー【130】と並び、また 2006 年のインヴァソール【129】よりも 1 ポンド上の評価となり、高いレベルでシーズンを締めくくった。

ニューアプローチ【130】はエミレイツ航空チャンピオンステークスを快勝し、2000 年のシンダー【132】、2001 年のポイントギヴン【130】、2003 年のダラカニ【132】とアラムシャー【131】、2005 年のハリケーンラン【130】等、20 世紀末以

来、130 ポンド以上を得た名だたる 3 歳馬の中に名を連ねることとなった。同馬はジョージワシントン【127】同様、前年欧州 2 歳チャンピオンの榮譽を得た後に、3 歳シーズンにおいて世界の芝のトップホースとなったものである。

2008 年スプリント部門のトップ争いは熾烈であった。香港のセイクリッドキングダム【123】はこの部門での芝のトップの地位は守ったが、これに並んだのがアメリカ調教馬ミッドナイトルート【123】である。同馬は BC スプリントを連覇するという前人未到の偉業を達成した。層の厚いオーストラリアのスプリント陣からはウィークエンドハスラー【122】とアパッチキャット【121】がこの 2 頭に続き、ヨーロッパからはマーシャンドール【121】、さらにそれから 1 ポンド下には無敗のハンガリー調教馬オーバードーズ【120】がランクインしている。

成長著しい 3 歳馬レイヴンズパス【129】は、マイルの G1 タイトルを持つライバルヘンリーザナビゲーター【125】を芝のマイル戦クイーンエリザベス II 世ステークスと人工馬場で施行された 10 ハロンの BC クラシックの 2 つの競走で破った。3 歳馬のランキングではニューアプローチに続いて第 2 位である。

芝の古馬マイル部門では、香港マイルを制した香港のグッドババ【124】がトップ。また、ポケットパワー【121】、スプリント部門のジェイジェイジェットプレーン【120】、牝馬のサンクラシック【120】等、南アフリカ調教馬の活躍も目立った。

デュークオブマーマレード【127】は、プリンスオブウェールズステークスやキングジョージ VI 世&クイーンエリザベスステークスを制し、古馬の 10-12 ハロンではトップとなった。ビッグブラウン【125】は米 3 冠競走の内 2 つを制し、平均レベルであった北米 3 歳部門の中で抜きん出た存在となった。

古馬のエクステンデ部門のトップには同厩舎の 2 頭、セプティマス【122】とイエーツ【122】（アスコットゴールドカップを 3 連覇の偉業を達成）が並んだ。また、成長著しい 3 歳馬コンデュイット【125】は英セントレジャーを制し、この部門で先の 2 頭と同レーティングとなった。コンデュイットは後に BC ターフを制し、12 ハロンでベストの数値を得ている。

* * * * *

2008 ワールド・サラブレッド・ランキングは 2008 年 12 月に香港で開催されたワールド・ランキング統括委員会により編纂されている。同委員会は国際競馬統括機関連盟加盟国のハンデキャッパー及びレーシング・セクレタリーにより構成されている。委員会のメンバーは以下のとおり。

Nigel Gray	(co-chairman)	Hong Kong
Garry O’Gorman	(co-chairman)	Ireland
Greg Carpenter		Australia
Gerald Sauque		France
Dominic Gardiner-Hill		Great Britain

Phillip Smith	Great Britain
Harald Siemen	Germany
Marco Rinaldi	Italy
Kazuhito Matano, Dr	Japan
Takahiro Uno	Japan
Dean Nowell	New Zealand
Mike Wanklin	Singapore
Roger Smith	South Africa
Melvin Day	UAE
Tom Robbins	USA

またオブザーバーは以下のとおり。

David Hunter	Australia
Steven Lym	Canada
Bahadir Gur	Turkey
Taylan Karaer	Turkey

* * * * *

The **World Thoroughbred Rankings (WTR)** are published by the **International Federation of Horseracing Authorities (IFHA)**. The full list and further information on the **World Thoroughbred Rankings** are available on the **IFHA** web site <http://www.ifhaonline.org/>

For further details on the **World Thoroughbred Rankings (WTR)**, please contact :

Nigel Gray, co-chairman World Rankings Supervisory Committee
Head of Handicapping and Race Planning, Hong Kong Jockey Club
Telephone +852 2966 8337
Email nigel.c.gray@hkjc.org.hk

Garry O'Gorman, co-chairman World Rankings Supervisory Committee
Senior Flat Handicapper, Irish Turf Club
Telephone +353 5997 26596
Email gaogorman@eircom.net

Tom Robbins, chairman North American Ratings Committee
Vice President (Racing), Del Mar Thoroughbred Club
Telephone +1 858 792 4230
Email tomr@dmtdc.com

* * * * *